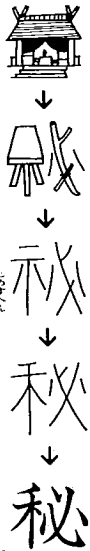


秘

六年

回数 10
筆順 秘 秘 秘 秘
オン ヒ
クン ひりめる

成り立ち



「神」の意味を表した「神」が誤って書かれた「神」と、「必(年604)」とを組み合わせて作った字です。

「神は必ず存在する。しかし、人知ではとても量り知ることができない」ということから、「人知ではとても量り知れないこと」という意味を表した字です。【例】神秘、秘法、秘術。

「量り知れない」ことから、「かくれた事(ひめ事)」の意味や「かくす」意味に使われています。【例】秘事、秘密、秘策、秘宝、秘境、秘蔵、極秘。

使い方

▽ぼくは高い山に登って、雲海を見おろしたことがあります。見渡す限り雲が広がって、夕日が白い雲をところどころ赤く染めていました。それは、とても神秘的な光景でした。

▽わたしは、秘密ノートを作っています。ほかの人に知られたくない自分だけの秘密を書きとめておくノートです。自分だけの秘事があるというのは、何だか良い気持ちのものです。

熟語例

- ▽神秘 (人知では量り知れない不思議なこと。)
- ▽秘法 (人に知られていない方法)
- ▽秘術 (秘密の術)
- ▽秘密 (人にかくしておくこと。)
- ▽秘事 (秘密の事)
- ▽秘策 (秘密の策。人に知られていない、うまいばかりごと)
- ▽秘宝 (人の目からかくしておく大切な宝物)
- ▽秘境 (人がまだ足を踏み入れていない奥地)
- ▽秘蔵 (大事にしまっておくこと。)

腹

六年

回数 13
筆順 肝 腹 腹
オン フク
クン はら

成り立ち



「複(年813) 雑に物が『重なる』意味の『復』と、肉体の部分の名前を表す印の『月』とを組み合わせて作った字です。

肉体の中で、「内臓が一番複雑に重なっている所」の『はら』を表した字です。【例】腹痛、空腹、口腹、抱腹、切腹。

「心」や「心の中の考え」の意味にも使います。【例】腹中、腹案、立腹。

また、「物の中ほど」の意味、「前面」の意味などにも使われます。【例】山腹、腹背。

使い方

▽ぼくはアイスクリームをたくさん食べすぎて、腹痛を起こしてしまいました。アイスクリームはおいしいけれど、腹痛を起こすほど食べるのは、無茶だったと思います。

▽友だちがおかしな冗談を言ったので、ぼくは抱腹絶倒してしまいました。するとそばにいた山下君が、それを誤解して立腹し、「何をそんなに笑うんだ」と言いました。わけを話すと、山下君も大笑いしました。

熟語例

- ▽腹痛 (おなかが痛むこと。)
- ▽空腹 (おなかがすくこと。)
- ▽口腹 (口と腹。飲んだり食べたりしたい気持ちを言います。「口腹を満たす」などと、つかいます。)
- ▽抱腹 (腹を抱えて大笑いすること。「抱腹絶倒」はひっくり返るほど大笑いすることです。)
- ▽切腹 (腹を切って自殺すること。)
- ▽腹中 (心の中)
- ▽腹案 (心の中に持っている考え)
- ▽立腹 (腹を立てること。おこること。)